

人権学習展開例〔第2学年〕

1 主 題 望ましい人間関係を形成する

2 教材名

20 ききかためいじんになろう



3 主題・教材について

しっかりと人の話を聴くことができると、相手の気持ちがわかったり、相手に関心をもっていることが伝わったりする。また、人に話を聴いてもらうと、自分の存在を認められていると感じることができ、うれしい気持ちになる。こうして互いの人間関係がうまく形成されていく。

この教材では、相手が「聴いてもらってうれしい」と感じる聴き方について考え、その練習をすることによって、よりよい聴き方の技能を身につけさせたい。

(関連教科：国語科)

4 ねらい ・自分の話をしっかりと聴いてもらえたらうれしく感じる体験を通して、人とのかわりが必要とされる「聴くこと」の大切さを知り、上手に聴くための技能を練習する。

5 展開例

過程	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導入	<ul style="list-style-type: none"> 聴いてもらってうれしかった経験や聴いてもらえずに悲しかった経験を出し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 聴いてもらっていると、話しやすかったり、うれしくなったりした経験や、聴いてもらえずに、話しづらかったり、悲しくなったりした経験を出させる。 	
展	<p style="text-align: center;">上手な聴き方はどれだろう。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 教材「ききかためいじんになろう」の絵を見て、上手な聴き方をしているのはだれか発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの絵の中でセピア色の人物が話し手であることをおさえる。 理由も合わせて発表させることで、「良い聴き方」のポイントを明らかにしていく。 	
開	<p style="text-align: center;">聴いてもらった人がうれしくなる「聴き方名人」のポイントは何かだろう。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 「聴き方名人」のポイントについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 「選んだ理由」をもとに、上手な聴き方を考えさせる。 「①話す人を見る」「②最後まで聴く」「③あいづちをうつ」といったポイントを確認する。 学級の実態に応じて、「④質問を考えて聴く」などのポイントを増やしてもよい。 	
まとめ	<p style="text-align: center;">「聴き方名人」になるための練習をしよう。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ペアをつかって、「聴き方名人」になる練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ポイントを意識させ、聴く練習をさせる。 話し手には、「私の好きな○○」「私の休みの日の過ごし方」など、子どもたちが話しやすい話題を提供する。 1回につき、1分間程度で話させる。 	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ふりかえりシートに記入する。 感想を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> 上手に聴いてもらった側だけでなく、上手に聴いた側も気分がよくなることに気づかせたい。 上手に聴くことによって、よりよく人間関係をつくれることを伝える。 	ふりかえりシート

【ふりかえりシート】



ききかためいじんになろう

なまえ ()

◇どんなことに気をつけて、^{とも}友だちの^{はなし}話をききましたか。

◇友だちがしっかりときいてくれると、よかったことはどんなことですか。

◇友だちの話をしっかりときくと、よかったことはどんなことですか。
